



平成26年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 イトーキ
 コード番号 7972 URL <http://www.itoki.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月5日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(氏名) 松井 正
 (氏名) 森谷 仁昭

TEL 03-5543-1701

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第2四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第2四半期	54,332	△1.4	2,639	△23.1	2,793	△22.2	2,100	△20.2
25年12月期第2四半期	55,113	△5.7	3,431	△17.4	3,589	△16.9	2,634	△25.0

(注) 包括利益 26年12月期第2四半期 2,212百万円 (△42.0%) 25年12月期第2四半期 3,812百万円 (△8.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第2四半期	41.67	—
25年12月期第2四半期	53.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭		
26年12月期第2四半期	99,776		44,506		42.4	838.89		
25年12月期	95,261		43,026		43.1	814.79		

(参考) 自己資本 26年12月期第2四半期 42,293百万円 25年12月期 41,078百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	0.00	—	13.00	13.00
26年12月期	—	0.00	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	13.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	108,700	5.1	4,520	9.2	4,650	5.1	4,000	2.3	79.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年12月期2Q	52,143,948 株	25年12月期	52,143,948 株
26年12月期2Q	1,728,468 株	25年12月期	1,727,472 株
26年12月期2Q	50,416,080 株	25年12月期2Q	49,701,998 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における国内の経済環境は、持続的な成長へむけた国内景気対策による需要喚起や消費拡大がみられる中、4月より消費税率が引き上げられたことにより、一時的に歩みを留めた感が見受けられましたが、足元は、全般的にはゆるやかな上昇傾向を示しており、この夏場以降については雇用拡大や設備投資意欲も改善されていくものとみられます。

このような経営環境のもと、当社グループは首都圏オフィス市場、医療市場や教育施設市場、公共施設市場及び金融市場を、重点市場と位置づけ販売に注力いたしました。

しかしながら、企業の投資マインドに大きな変化は見られないものの、増税後の景況見極め感等から、例年に比較し企業の設備投資が後寄せ傾向にあり、売上高は前年並みとなりました。

その結果、売上高は543億32百万円（前年同期比1.4%減）、営業利益は26億39百万円（前年同期比23.1%減）、経常利益は27億93百万円（前年同期比22.2%減）、四半期純利益は21億円（前年同期比20.2%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

[オフィス関連事業]

この事業につきましては、首都圏大型新築ビルの竣工後の二次移転・三次移転によるオフィス移転の増加や、テナントビルの空室率の改善を背景に、オフィスの移転・リニューアル需要が顕在化し、医療施設や教育施設・地方自治体庁舎の新築や、金融市場の活性化による移転・リニューアル商談等も確実に取り込んでまいりましたが、首都圏の民間企業の設備投資抑制が影響し、前年をやや下回る結果となりました。

業績につきましては、売上高280億21百万円（前年同期比4.0%減）、営業利益16億33百万円（前年同期比33.3%減）となりました。

[設備機器関連事業]

この事業につきましては、オフィス関連事業との相乗効果を図るトータルソリューション提案を展開いたしました。一部商品群につきましては、設備投資抑制の影響もありましたが、物流設備機器・セキュリティ設備機器が堅調に推移し、連結子会社のダルトンが手がける研究設備機器が順調な伸長をみせた結果、売上高・営業利益とも前年を上回る結果となりました。

業績につきましては、売上高244億37百万円（前年同期比1.5%増）、営業利益10億4百万円（前年同期比7.5%増）となりました。

[その他]

その他の事業では、少子化による需要減少・競争激化等の厳しい環境下にある家庭用家具分野において、学習環境をトータルに提案する営業活動を展開したことにより、売上高は前年並みとなりました。

業績につきましては、売上高18億73百万円（前年同期比1.5%増）、営業利益1百万円（前年同期比96.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて45億15百万円増加し、997億76百万円となりました。これは主に、現金及び預金が42億46百万円増加したことによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて30億34百万円増加し、552億69百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が16億68百万円増加したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べて14億80百万円増加し、445億6百万円となりました。これは主に、利益剰余金が14億23百万円増加したことによるものです。また、自己資本比率は前連結会計年度末から0.7ポイント下落し42.4%となりました。

② 連結キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ、43億68百万円の資金の増加があり224億71百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

営業活動による資金の増加は59億48百万円（前年同期は59億41百万円の増加）となりました。この主なものは、売上債権の増加などがありましたが、税金等調整前四半期純利益の計上及び仕入債務の増加、減価償却費の計上によるものです。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

投資活動による資金の減少は6億71百万円（前年同期は26億95百万円の減少）となりました。この主なものは、有形固定資産の取得による支出などによるものです。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

財務活動による資金の減少は9億12百万円（前年同期は3億2百万円の減少）となりました。この主なものは、社債発行による収入などがありましたが、配当金の支払いなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成26年2月14日発表の「決算短信」に記載いたしました業績予想を変更しております。

詳細は、平成26年7月25日に開示いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,553	23,799
受取手形及び売掛金	26,234	26,511
有価証券	77	625
商品及び製品	3,408	2,883
仕掛品	1,112	1,352
原材料及び貯蔵品	1,296	1,379
その他	1,581	1,836
貸倒引当金	△338	△317
流動資産合計	52,925	58,071
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,601	13,334
土地	10,265	10,114
その他(純額)	5,326	4,259
有形固定資産合計	28,193	27,709
無形固定資産		
のれん	34	30
その他	1,196	1,165
無形固定資産合計	1,230	1,196
投資その他の資産		
投資有価証券	5,066	5,386
前払年金費用	1,190	1,248
その他	7,460	6,960
貸倒引当金	△805	△795
投資その他の資産合計	12,911	12,799
固定資産合計	42,335	41,704
資産合計	95,261	99,776

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,375	15,044
電子記録債務	3,889	4,460
短期借入金	10,921	11,242
未払法人税等	746	769
賞与引当金	922	719
役員賞与引当金	90	-
受注損失引当金	77	84
製品保証引当金	23	24
債務保証損失引当金	31	56
その他	5,280	6,189
流動負債合計	35,359	38,591
固定負債		
長期借入金	3,718	3,338
退職給付引当金	6,364	6,386
役員退職慰労引当金	179	181
製品自主回収関連損失引当金	149	134
負ののれん	0	-
その他	6,463	6,636
固定負債合計	16,874	16,678
負債合計	52,234	55,269
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,277	5,277
資本剰余金	13,061	13,061
利益剰余金	22,073	23,496
自己株式	△833	△834
株主資本合計	39,578	41,001
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,479	1,242
為替換算調整勘定	20	48
その他の包括利益累計額合計	1,500	1,291
少数株主持分	1,947	2,213
純資産合計	43,026	44,506
負債純資産合計	95,261	99,776

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
売上高	55,113	54,332
売上原価	35,547	34,945
売上総利益	19,566	19,387
販売費及び一般管理費	16,134	16,747
営業利益	3,431	2,639
営業外収益		
受取利息	22	15
受取配当金	75	70
負ののれん償却額	1	0
受取賃貸料	102	92
受取保険金	45	33
関係会社貸倒引当金戻入額	-	16
債務保証損失引当金戻入額	55	-
その他	103	164
営業外収益合計	404	392
営業外費用		
支払利息	112	115
減価償却費	32	30
関係会社貸倒引当金繰入額	61	-
債務保証損失引当金繰入額	-	26
その他	41	66
営業外費用合計	247	238
経常利益	3,589	2,793
特別利益		
固定資産売却益	2	340
投資有価証券売却益	37	0
負ののれん発生益	16	27
受取補償金	14	-
特別利益合計	70	368
特別損失		
固定資産売却損	0	60
固定資産除却損	34	21
移転関連費用	-	42
子会社清算損	95	-
減損損失	60	2
その他	0	1
特別損失合計	191	129
税金等調整前四半期純利益	3,468	3,032
法人税、住民税及び事業税	566	784
法人税等調整額	102	△171
法人税等合計	668	613
少数株主損益調整前四半期純利益	2,799	2,419
少数株主利益	164	318
四半期純利益	2,634	2,100

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,799	2,419
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	887	△235
為替換算調整勘定	125	28
その他の包括利益合計	1,013	△207
四半期包括利益	3,812	2,212
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,635	1,892
少数株主に係る四半期包括利益	177	319

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,468	3,032
減価償却費	1,304	1,269
減損損失	60	2
のれん償却額	2	3
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	63	△32
賞与引当金の増減額 (△は減少)	24	△202
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△53	△93
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△66	7
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	21	21
前払年金費用の増減額 (△は増加)	-	△58
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△33	2
製品自主回収関連損失引当金の増減額 (△は減少)	△13	△14
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△3	1
債務保証損失引当金の増減額 (△は減少)	△55	24
違約金損失引当金の増減額 (△は減少)	△127	-
受取利息及び受取配当金	△97	△86
支払利息	112	115
持分法による投資損益 (△は益)	0	-
有価証券及び投資有価証券売却損益 (△は益)	△37	0
有価証券及び投資有価証券評価損益 (△は益)	0	0
固定資産売却損益 (△は益)	△2	△279
固定資産除却損	34	21
子会社清算損益 (△は益)	95	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,493	△202
たな卸資産の増減額 (△は増加)	390	210
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,626	2,161
その他	1,319	813
小計	6,543	6,719
利息及び配当金の受取額	99	90
利息の支払額	△110	△109
法人税等の支払額	△590	△751
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,941	5,948

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,635	△776
定期預金の払戻による収入	1,677	1,708
有価証券の取得による支出	△400	△549
有形固定資産の取得による支出	△1,712	△931
有形固定資産の売却による収入	49	973
投資有価証券の取得による支出	△59	△610
投資有価証券の売却による収入	167	3
投資有価証券の償還による収入	400	-
短期貸付金の増減額 (△は増加)	△100	△50
長期貸付金の回収による収入	28	10
その他	△1,109	△447
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,695	△671
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	78	626
長期借入れによる収入	1,220	900
長期借入金の返済による支出	△1,263	△1,627
社債の発行による収入	500	500
社債の償還による支出	△104	△388
配当金の支払額	△497	△655
少数株主への配当金の支払額	△18	△8
その他	△218	△260
財務活動によるキャッシュ・フロー	△302	△912
現金及び現金同等物に係る換算差額	29	△7
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,973	4,356
現金及び現金同等物の期首残高	16,156	18,102
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	434	-
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	253	11
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,818	22,471

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	オフィス 関連事業	設備機器 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	29,188	24,078	53,267	1,846	55,113	—	55,113
セグメント間の内部 売上高又は振替高	11	13	25	9	34	△34	—
計	29,200	24,091	53,292	1,856	55,148	△34	55,113
セグメント利益	2,449	934	3,384	47	3,431	—	3,431

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、家庭用家具事業及び保守サービス事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	オフィス 関連事業	設備機器 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	28,021	24,437	52,458	1,873	54,332	—	54,332
セグメント間の内部 売上高又は振替高	15	45	60	11	72	△72	—
計	28,036	24,483	52,519	1,885	54,404	△72	54,332
セグメント利益	1,633	1,004	2,638	1	2,639	—	2,639

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、家庭用家具事業及び保守サービス事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。